

カードの更更新手続き お願いします

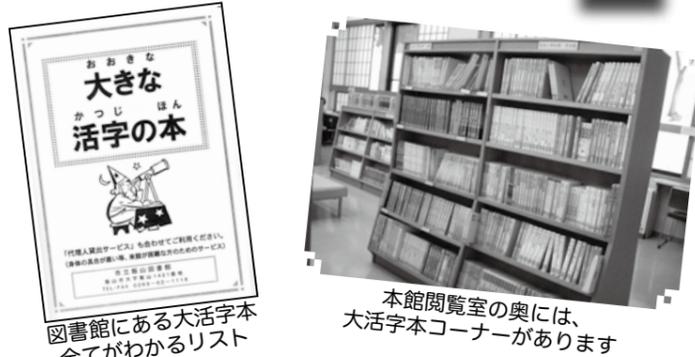


利用カードの有効期限は、カードを作った日から**5年後の誕生日**までです。有効期限が切れる方には、窓口で、更新の手続きを行っていただくようお願いすることがあります。手続きは**カードと身分証明書**を提示するだけです。ご協力をお願いします。

住所など変更した場合は書類をお書きください。この手続きにより、さらに5年間ご利用いただけます。同じカードを引き続き利用しますので、大事にしてください。

○便利な大活字本情報 その3

ジャンル様々
★**充実のラインナップ**
人気の時代小説や、最近映画化された小説、著名人のエッセイ、脳が鍛えられると話題の「音読」の本、実用的なマナーをわかりやすいイラスト付きで紹介している本、心に残る手紙の本、コンピュータ操作法の本、短歌・俳句・川柳の本など、幅広いジャンルで、約750タイトルが揃っています。



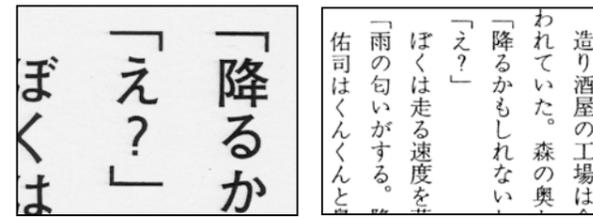
本館閲覧室の奥には、大活字本コーナーがあります

図書館にある大活字本全てがわかるリスト

大きな字で読みやすい 大活字本はいかが？

「最近、字が見えにくくなって、本を読むのがおっくうになってしまった」「小さい字が見えにくいから、本が嫌い」という方の強い味方!!
図書館には、大きな活字で読みやすい「大活字本」があります。

実証! 大活字本の活字の大きさ



△大活字本(左)と一般書(右)の活字の大きさを比較。違いは一目瞭然です。

当然ですが、**★字が大きいから読みやすい!**
小さな字が苦手な方もラクラク読めます。

○便利な大活字本情報 その1

No.335

発行・編集：市立飯山図書館
長野県飯山市大字飯山 1421 番地
電話・FAX：0269-62-1118
URL：http://tosho.city.iiyama.nagano.jp
2007年(平成19年)2月15日発行

開館時間と休館日

〈開館時間〉火～金 9:30～18:00
土・日 9:30～17:00
〈定休日〉月曜日・祝祭日・年末年始

休館日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
2月 18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	1	2	3
3月 4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24

■の日は休館です。

○便利な大活字本情報 その2

本選定の強い味方
★**リストがあります**

図書館で所蔵する大活字本すべてを掲載した「大きな活字の本」リストがあります。本を選ぶときにご利用ください。移動図書館にもありますので、ご希望の方は職員にお申し出ください。

例えば電話で：
【お客様】「リストの○○」



ゆきつばき号に載せていきますね

図書館

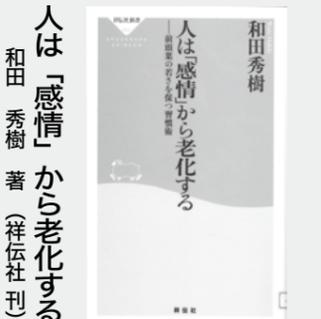
新着図書案内

- よみもの
天地人 上・下 火坂 政志
拝啓、父上様 倉本 聰
藤沢周平に学ぶ 月刊望月編集部
竹内浩三集 竹内 浩三
いのちの叫び 日野原重明
貧困の光景 三浦 綾子
まとい大名 山本 一力
世間の辻 澤田ふじ子
最愛 真保 裕一
ガリレオの小部屋 香納 諒一
水底の光 小池真理子
ドアド 山田 悠介
DNAエ 伊織 悠介
ローマ人の物語14・15 塩野 七生
日本雪山登山ルート集中 成勝 七生
軍師山本勘助 笹本 正治
山本勘助のすべて 上野 晴朗
夫婦は「ありがとう」 橋田壽賀子
老人介護Q&A 三好 春樹
事例に学ぶ森林療法 高上 憲之
少子化の経済分析 高山 憲之
暴力は親に向かう 二神 能基
教育力 齋藤 孝
昔ながらの暮らしの知恵 マガジンハウス
双子・三ツママの妊娠 竹内 正人
出産前後安心ブック 内見 裕子
困ったちゃん 育て方 汐見 稔幸
3日連続でやるそうじ方 外田 光洋
超力タンク「関節体操」 白木 綾子
旧約聖書入門 三浦 仁
見えなくなるとはなに読む本 稲垣 吉彦
今日もいい塩梅 牧子 恵子
30年の物語 岸 恵子
医者という仕事 南木 佳士
富島松五郎伝 岩下 俊作
槍持ち佐五平の首 佐藤 雅美
遊動亭円木 辻原 登
水鳥の関 平岩 弓枝
思い出そうらんぷ 向田 邦子
ALWAYS 二目の夕日 西岸 良平

らいぶらりいブックレビュー

こんなものもあります

旬の本・話題の本・意外な本



人は「感情」から老化する
和 田 秀 樹 著 (祥伝社刊)

40代から「感情の老化」は始まるという。感情老化はそのまま体力低下や知的機能の低下にもつながっていく。突然、イライラするようになった人、落ち込むと長い人、読んで「へえ」「ふーん、なるほど」と気付くだけでも、感情の老化が止まるかも。

私たち、大活字本を利用してます!

ゆきつばき号 山口ステーションご利用の三人に聞きました



・目が疲れるので、大きな活字の本はいいな。前回借りた『夢のつづき』は面白かったよ。(岸田とく江さん)
・リストから選んだ本を持ってきてもらってるんだ。読んだのはリストに○印してるよ。(岸田良子さん)
・私はリストじゃなくて本そのものを見て選んで借りていくよ。3冊ほどで完結する話は読みやすいな。(北川三枝さん)

ページの△△番の本を読みたいので、移動図書館に積んできてください」
【図書館】「はい。たたいま、本館にありますので、次の

巡回日にお持ちしますね」といった感じで、リストを使えば、電話で予約するのも簡単です。

『シリーズわたしのおすすめの本』紹介します

今月は趣向を変えて、お得意様から、図書館や本について、思いを寄せていただきました。



飯山地区

丸山 明美さん

「あつ、丸山さん!! ちょうどよかった。この前のリクエストの本が入りました」
図書館のドアを開けると、すぐに、司書の方から声をかけられました。幼いもうれしい瞬間です。幼い頃より本が好きで、市立図書館との付き合いは、小学校の六年生の頃からです。

『赤毛のアン』シリーズから始まり、大人になってからは推理小説、子どもが小さいときには、つかの間に読めるエッセイ。今は時代小説に夢中です。平岩弓枝の『御宿かわせみ』宮部みゆきの『日暮し』北原亜衣子や、藤沢周平、佐藤雅美。特に山本一力の『だいこん』で、「人に対する思いやり」を。また、宇江佐真理の『おちやっぴい』で「待つこと」の切なさ」を学びました。澤田ふじ子、半村良、白石一郎もおもしろいです。

転勤族の我が家は、いろいろな町に住み、その図書館にお世話になりました。大きな町の近代的な建物の図書館もあれば、歩くとミシッと音がして、上の棚の本を取るのに椅子を使わなければならない図書館もありました。それでも好きな本と、図書館の司書の方との楽しい会話は、どこでも同じです。仕事や家事に追われ、悩むことも泣くこともあり、慰められ、励まされています。

私にとって本は、大切な友人の一人です。